

令和5年度 奈良県立五條高等学校 学校評価計画表（年度当初）

【高等学校用】

年度	令和5年度（中期計画2年目）
本校の使命（スクール・ミッション）	校訓である「質実」「剛健」「礼節」を身に付けた、地域・社会に貢献する自立した人材の育成
年度重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 基礎学力の充実・伸長を図る。－探究活動の積極的な導入、家庭学習の充実、計画的な学習、補充講座の充実、言語活動の充実、授業研究の推進、学ぶ意欲と想像力を高める教育の実践 等 ◎ 規範意識等の向上を目指す。－欠席・遅刻を減らす取組、挨拶・マナーの向上、頭髪・服装・言動・規範意識などの点検 等 ◎ 総合的な探究の時間を充実させ、主体性や課題解決能力とともに郷土愛を育む。－公開講座・出張授業の実施、近隣の学校・園との連携、外部人材の活用 等 ◎ 部活動等の活性化を推進し、自信と誇りがもてる活気ある学校を作り、良き校風の継承に努める。－「まなびの森コース」の教育内容の充実、進学に向けた基礎学力の充実、大学等との連携によるキャリア教育の充実、情報機器等の活用に関する研究 等 ◎ 温もりのあるコミュニケーションを通して、家庭と連携を密に取り、きめ細やかな指導に努める。－教育相談や特別支援の必要な生徒・不登校生徒等への指導体制の充実、支え合う仲間づくり 等 ◎ 多様性を尊重し、共に生きていくための意思と実践力を育成する。－インクルーシブ教育の推進、学校行事等での配慮、生活のあらゆる場面での助け合い 等 ◎ コミュニティ・スクールの取組を推進するため、地域とさらに連携し、地域と共にある学校づくりを活性化させるとともに、積極的に広報活動を行う。－公開講座・出張授業の実施、近隣学校・園との連携、外部人材の活用、HPや報道資料の積極的な更新や発信 等

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の使命や教育方針を理解している生徒 2 より発展的な学びを目指し、様々な学びに積極的に取り組む意欲のある生徒 3 資格取得に向けて意欲的に取り組む生徒 4 主体的に考えて行動でき、地域貢献への意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校では、「確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身（知・徳・体）を備えた生徒」の育成を中核に据え、「夢や希望の実現に向け、様々な課題に積極的に挑戦する生徒」「自他を尊び、地域・社会に貢献する自立した生徒」の育成を目指し、その実現のために以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人の自己実現に繋がるよう、基礎学力の定着に重視しながら興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 学科やコース、類型の枠を越えて、思考力・判断力・表現力の育成を重視した学校設定科目を開設し、主体的、探究的に学び考える力を培います。 3 教育活動全般を通じて、温もりのあるコミュニケーション能力を育成します。 4 コミュニティ・スクールの趣旨を踏まえ、地域の小・中学校等との連携やボランティア活動などを積極的に回り、地域や社会に貢献する精神を涵養します。 5 海外姉妹校との連携等により、自己理解と異文化理解等を充実させ、グローバルな視点で物事を判断する力を育成します。 6 生徒一人一人の興味・関心に応じた講座を開講し、資格取得などを目指す「本人のための教育」を推進します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな人間性を基盤に、社会に貢献しようとするができる。 2 自他敬愛の精神とともに、自らの地域の歴史や文化に対する強い誇りと愛着をもっている。 3 コミュニケーション力を大切にし、仲間と協働しながら主体的に課題を解決できる。 4 卒業後も文武両道に努め、自ら学び続けることができる。

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標（A）	計画期間における具体的目標（B）	令和5年度末の目標値等（C）
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい生活習慣の確立	出席率98.5%以上。	本年度の出席率97.5%以上
	人権及び命に関する取組を深め、自他を大切に する学習の推進	人権や命にかかわる学習を各学年で年間9時間以上。人権問題について考える機会が多いを95%以上。	人権や命にかかわる学習を各学年で年間8時間以上。人権問題について考える機会が多いを前年並み（94.5%）に。
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率80%以上。	朝食摂取率の学校独自調査の実施 啓発活動を各学期1回以上 朝食摂取率を今年度70%以上に
	課外活動の充実	部活動加入率（体育系・文化系）80%以上。	部活動加入率（体育系・文化系）75%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度の平均80%以上。	生徒の授業満足度の平均78%以上。
	学習習慣の確立	毎日家庭学習を行う者の割合を80%以上。	毎日家庭学習を行う者の割合を70%以上。
	ICTを活用した授業の推進	I C T 機器の利用を全授業の85%以上。	I C T 機器の利用を全授業の80%以上
	学校における働き方改革の推進	全職員の平均残業時間を令和3年度の職員一人月あたり21.23時間から15%減の18時間以下とする。	全職員の平均残業時間を令和3年度の職員一人月あたり21.23時間から10%減の19時間以下とする。
	交通安全教育の推進	単車及び自転車による通学者の交通事故を年間0（ゼロ）件。	単車及び自転車による通学者の交通事故を前年度以下に
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ（就職希望者）、アカデミック・インターンシップ（進学希望者）への参加率80%。	インターンシップ（1・2年生の就職希望者対象）、アカデミック・インターンシップ（1・2年生の進学希望者）への参加を50%以上にする。
	地元産業界等との連携	「出前講義」「職業ガイダンス」等を年間7回以上。	「出前講義」「職業ガイダンス」等を年間5回以上。
	キャリア教育の推進	「私の夢プラン」による自己点検を教員が確認し、アドバイスする（毎週）。 「進路カルテ」「ポートフォリオ」（旧課程）「キャリアパスポート」（新課程）による到達度チェック等を毎学期1回以上。	「私の夢プラン」による自己点検を教員が確認（月2回程度）。 「進路カルテ」「ポートフォリオ」「キャリアパスポート」による到達度チェック等を毎学期最低1回行い、それらを資料とする進路指導を1回以上行う。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールとしての地域貢献	地域の各小・中学校との連携各校3回（共同開催含む）以上。	地域の小・中学校との連携各校3回。
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」における現地研修等を2回以上。	現地研修等をまなびの森コースに限らず1回以上行う。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	グローバルマインドの育成	姉妹校とのオンラインによる交流を年間3回以上（コロナ禍が終息すれば短期留学等も再開）。	姉妹校とのオンラインによる交流を年間3回以上 本校生の姉妹校への研修旅行もしくは姉妹校からの研修生受け入れを1回以上
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組を推進し、年間いじめ等発生件数を全校生徒数の1%未満とする。	年間いじめ等発生件数を前年度未満とする（令和4年度2件）。
	特別支援教育を推進し、個別最適な教育支援態勢を構築する。	・生徒の実態把握を行い、支援や配慮が必要な生徒についての対応を立案する。 ・教育的ニーズに応じた基礎的環境の整備を行う。 ・教員全体で、個々の生徒についての情報共有と、合理的配慮の提供を行う。	対象となる生徒の状況を学期毎に確認し、個別の支援計画・指導計画を作成する。

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--